

2月定例会の審議結果

2月定例会で審議された市長提出議案115件、議員提出議案12件の審議結果は、次のとおりです。

(○ = 賛成、× = 反対)

自 民 党 = 自由民主党京都市議員団(23人) 共 産 党 = 日本共産党京都市議員団(20人)
公 明 党 = 公明党京都市議員団(11人) 民 主 ・ 都 = 民主・都みらい京都市議員団(10人) 無 所 属(1人)

Table with columns: 件名, 審議結果, 自民党, 共産党, 公明党, 民主・都, 無所属. Rows include 19年度予算案, 18年度補正予算案, 条例制定案, 条例改正案, その他案, 議員提案.

予算特別委員会の審査

市会が19年度予算に付けた付帯決議(要旨)

2月定例会では、19年度予算などを審査するため、2月27日に二つの予算特別委員会に議案を付託しました。

普通予算特別委員会には、19年度一般会計予算など予算案14件とその関連議案19件を、また、公営企業等予算特別委員会には、病院、水道、公共下水道、自動車運送(バス)、高速鉄道(地下鉄)などの19年度予算案8件をそれぞれ付託し、各委員会において、局長等に対する質疑を終えた後、市長・副市長に対する総括質疑を行い、3月13日の本会議で各委員長から審査の経過と結果を報告しました。

報告の後、付託議案の議決が行われ、すべて委員長報告どおり、原案のとおり可決されました。

なお、19年度病院事業特別会計予算などに付けた付帯決議は右のとおりです。

○ = 付帯決議に対して賛成
× = 付帯決議に対して反対

【病院事業特別会計】

1 市立京北病院は、地域医療の拠点として、大変重要な医療機関であるが、整形外科の常勤医師が確保できていないなど、京北地域において安心して医療に掛かることができるのかとの不安の声が高まっており、また、看護師も人手が足りない状況である。

よって、整形外科の常勤医師は当然のことながら、内科の常勤医師、また、看護師の確保について、今まで以上に強力に大学や医療関係機関への働き掛けをすること。

2 京都市立病院は、「地域がん診療連携拠点病院」としてがん医療の質の向上を目指し、放射線治療、専門医育成、早期緩和ケア及びがん登録の推進に取り組むこと。(全会一致)

【自動車運送事業特別会計】

マイカーを中心に、交通手段が多様化する中で、ここ数年、本市のバス事業においては、全車両数の2分の1を民間バス事業者に管理の受委託を行い、一定の財政効果を上げてきた。

しかしながら、19年度予算において、その委託料は45億円に上り、また、生活支援路線に対する補助金は11億円に上っている。このため、今後これまで以上に受委託路線における乗客増対策や効果的な運営に努め、更なる経済性を発揮すべきである。(自、共×、公、民、無)

【自動車運送事業特別会計及び高速鉄道事業特別会計】

地下鉄東西線天神川駅の開設に併せて、十分な事前の調査、検討を図りつつ、右京区民をはじめとする市民の要望を踏まえ、地下鉄、京福電鉄と連携の下、市バスのネットワークの構築を行い、速やかに周知することにより、一人でも多くの市民に利用され、愛される市バスであるとともに、公益性と経済性の向上に努めること。(全会一致)

【水道事業特別会計】

本年度から年間4億円の予算で鉛製給水管の布設替えが計画されているが、完了までに約20年の歳月を要するとみられる。市長は約10年ですべて取り替えられるよう検討すると答弁されたが、更に努力され、可及的速やかに完了されるよう取り組まれない。(全会一致)

更なる市会改革を推進
この度、議会議場の更なる充実や市民により開かれた魅力ある市会の実現に向けた検討を行ってきた。第2次京都市会改革検討小委員会が報告をまとめました。
今回の報告では、執行機関設置の審議会への議員の参画の見直し、訴えの提起、市営住宅の家賃滞納に係る明渡し等を迅速に行うための市長専決範囲の拡大、本会議場等の一一般見学及び市会ホールPMの充実などの改革の内容がまとめられ、京都市会ではこれらの改革項目について、直ちに着手しました。



- お知らせ
3月13日の本会議で、4月29日限りで退選する9人の議員へ、市長と議長からはなむけの言葉が贈られ、勇退議員を代表して、青木ヨシオ議員から謝辞が述べられました。
勇退議員
青木ヨシオ(左京区)
国枝克一郎(上京区)
北川 安明(西京区)
中村 安良(西京区)
宇都宮 壮一(右京区)
藤原 冬樹(右京区)
山本 正志(左京区)
久保 省二(西京区)
砂川 祐司(伏見区)